

# 臨床研究に関する公開情報

2021年11月24日

疫学研究とは、病気にかかることの頻度や病気の多さを調べて、その原因を明らかにする研究です。私たちは過去のカルテより得られた情報を利用して、現在まで行われた病気の診断・治療の評価を行い、より良い診断・治療法を確立し患者さんに還元できるように、下記の疫学研究を行っています。

下記の疫学研究は、京都民医連あすかい病院倫理委員会の承認を得た後、研究責任者の管轄のもとに行われます。当院にすでに記録されている臨床情報をもとに行われるため、対象となる患者さんに新たにご負担をおかけすることはありません。

また、この研究の結果は専門の学会や学術雑誌に発表されることがありますが、対象者のプライバシーは十分に尊重され、個人に関する情報(氏名など)が外部に公表されることは一切ありません。

もし、下記の疫学研究にご自身の臨床情報を使用されることに同意されない方は、下記連絡先にご連絡くだされば、解析対象から除外させていただきます。同意されない場合でも、診療上であなたが不利益を被ることは一切ありません。また下記研究に関して、ご不明な点がございましたら、いつでも下記連絡先にお問い合わせください。

## <概要>

研究課題名：「一般病棟におけるリハビリ処方患者への  
日本語版 STRATIFY の転倒予測精度について:後視的コホート研究」

対 象：2021年7月～8月に当院南2病棟にてリハビリテーションを行われた方。

研究期間：倫理委員会承認日～2022年3月までを予定しています。

研究目的：病院内での転倒は発生頻度が高く、入院日数の長期化や施設入所の可能性を高めるとされています。入院された際に転倒しやすい方を事前に把握しておくことで、適切な対策を行うことができます。今回は転倒しやすい方を把握する検査の予測精度を調査し、今後のケアにつなげていくことを目的としています。

方 法：診療記録より臨床情報を収集します。収集する臨床情報には、性別、年齢、日常生活動作能力、転倒回数等があります研究結果は学会および論文にて公表します。

個人情報：臨床情報は匿名化され、個人が特定できないようにして、必要な臨床データのみを収集して解析を行います。そのため、本研究に協力していただく患者さんに不利益が生じることはないと考えています。しかし、そうであっても臨床情報を本研究のために使用されたくない方は、ご連絡いただければ解析対象から除外します。

問い合わせ先：京都民医連 あすかい病院 リハビリテーション部  
〒606-8226 京都市左京区田中飛鳥井町 89  
TEL：075-701-6111 FAX：075-781-9892  
研究責任者 大倉善史